

当院では 看護職員の負担軽減と処遇改善のために看護職員の勤務状況を把握し、業務改善や病院全体としての協力体制をつくり、看護職員が担っている業務を他職種との分担をすすめています

令和7年看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

【負担軽減及び処遇改善に対する責任者】

処遇改善

リフレッシュ7日間

院長: 溝口 義人

年間休日数の増加 109日(+7日)

副看護部長: 本田 奈美枝

【負担軽減及び処遇改善推進の委員会】 年2回

院内安全衛生委員会 1回/月開催

項目		令和 8年度の計画内容	達成項目のチェック	
			令和 8年 月	令和 9年 月
ア.配慮した勤務表の作成と適正配置	適正な人員配置と状況に応じた調整で時間外が発生しないように配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・予定入院患者は、来院後は病棟へ誘導 ・欠員がある部署への応援体制 		
イ.看護職員と多職種との業務分担	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤指導・退院指導 ・翌日予定薬剤の配達 		
	リハビリ職種	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時の生活指導 ・夕方オムツ交換介助 		
	臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・採血の介助、検体を回収 ・外来翌日検体の用意 		
	臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・高気圧酸素、温熱治療、内視鏡検査のサポート ・手術室での介助、サポート 		
	放射線技師	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟予定患者の検査誘導 		
	その他事務・MSW	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャン文書依頼 ・栄養科、配膳介助 		
ウ.看護補助者の配置	看護補助者の増員及び夜間配置等	<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者の増員、 		
エ.多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態での雇用で看護職員の採用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間専従看護師 		
オ.妊娠・子育て中、介護中の職員に対する配慮	院内保育	<ul style="list-style-type: none"> ・母が公休の時の院内保育預かり 		
	夜間保育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間保育曜日拡大 		
	夜勤免除	<ul style="list-style-type: none"> ・子が小学校始期までは希望および届け出により免除 		
	半日・時間単位休暇制度	<ul style="list-style-type: none"> ・午前出勤、午後出勤などの半日体制で休暇を取得 		
	所定労働時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・時短勤務 		
カ.夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員 連続夜勤の上限設定 夜勤中の業務量の調整	<ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟4名体制(外来夜勤含む) ・連続夜勤2回まで 		
キ.その他機器備品及び業務改善		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示受け時間厳守【16時】 ・診療時間が延長しないよう、予約人数を定数へ 		